

令和4年度 鎌倉養護学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
1 体罰、不適切な指導の防止	人権尊重の意識を高め、体罰、行き過ぎた指導を未然に防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。 ・人権に配慮した授業作りができていないかアンケートを実施し、結果を共有した。 ・校長による個別面談で、聞き取りを行った。
2 公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）	常に公務員としての自覚を持ち、法令遵守に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。
3 わいせつ・セクハラ行為の防止	相手の感じ方を尊重し、人権を尊重した態度を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。 ・人権に配慮した授業作りができていないかアンケートを実施し、結果を共有した。
4 業務執行体制（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	互いに協力する意識を高めるとともに、協働する職場環境を醸成する	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。
5 調査書・通知表等の作成、文書管理に係る事故防止	個人情報等に関する文書管理において、組織として事故防止に継続して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。
6 パワーハラスメントの防止と風通しの良い職場環境の確立	職務に専念でき、働きやすい職場環境の確立に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で不祥事防止職員啓発点検資料を活用し研修を行った。 ・人権に配慮した授業作りができていないかアンケートを実施し、結果を共有した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題（学校長意見）

今年度は、不祥事故防止職員啓発点検資料を活用し、研修会を行った(項目1～6に該当)。それ以外に、人権に配慮した授業作りのアンケートを6月と12月の2回実施した。また、ヒヤリハット・アクシデントについてのケース会を行った。人権に配慮した授業作りのアンケートでは、次のようになり、昨年度より改善されている。次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。

- ・「児童生徒を、〇〇さんづけで呼んでいる」(肯定的:6月91%、12月97% 項目1に該当)
- ・「職場ではあいさつをこころがけ、同僚のあいさつを無視していない」(肯定的:6月99%、12月100% 項目3、4、6に該当)

ヒヤリハット・アクシデントについては、学部ごとにケース会を実施したが、「未然に防ぐことに繋がったか」という問いに対しては、実感が持てないと感じている職員がいた(肯定的:86%)。また、どのような内容をあげればよいのか悩んでいる職員もいた。年度当初に、ヒヤリハット・アクシデントの例を挙げて引き続き取り組む必要がある。